

事務事業マネジメントシート(令和 3年度実績と令和 4年度計画)

令和 4年 7月19日更新

事務事業名	感染症予防事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	2	福祉の健康	所属部	健康福祉部	課長名	坂井 晴代
	施策	5	健康づくりの推進	所属課	健康づくり推進課	担当者名	山口 建太
	施策の柱	21	地域医療体制の充実	所属班	健康推進班	(内線)	1632
予算科目	会計一般	款4	項1	目2	事業連番10380	根拠法令	予防接種法
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 3年度で終了 <input type="checkbox"/> 3年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	予防接種法に基づく定期接種及び行政措置での任意接種を実施。全て個別接種で実施している。また、併せて感染症予防の普及啓発を行う事業である。定期接種は、ヒブ、小児用肺炎球菌、B型肝炎、BCG、四種混合(百日咳・ジフテリア・破傷風・ポリオ)、不活化ポリオ、MR(麻疹・風しん)、麻疹、風しん、日本脳炎、DT(破傷風・ジフテリア)、子宮頸がん、水痘、ロタ(R2.10月から開始)、65歳以上のインフルエンザ、高齢者用肺炎球菌である。(子宮頸がん予防ワクチンは、副反応報告が相次いだため、平成25年6月14日以降接種勧奨の差し控えとなっている。)また、H31年4月から風しんの追加的対策事業として風しん抗体検査及び第5期風しん予防接種を実施。行政措置での任意接種は、年後6月～65歳未満のインフルエンザである。インフルエンザ定期接種(65歳以上)は、自己負担額1,400円、年後6月～64歳のインフルエンザ任意接種1,900円、高齢者用肺炎球菌3,200円で、その他の定期予防接種は自己負担なしで、市が全額負担している。また、平成25年度より妊娠を希望する女性及びその配偶者等が抗体検査を行い、その結果、風しんの予防接種を行った場合、上限4,000円で補助を行っている。
【業務の流れ】	医療機関等との契約。委託料の支払い事務。補助金交付に関する事務処理。接種台帳管理、電算入力等の事務処理。予診票作成。個別通知、すこやかカレンダー、広報、乳幼児健診、家庭訪問等で周知。
【主な予算費目】	需用費(消耗品費・印刷製本費)、役務費、委託料、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	市民からは定期接種の種類が増えたが、小児の接種費用は無料なため経済的に助かるとの意見あり。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 3年度実績(3年度に行った主な活動)(DO)	予防接種法に基づき、個別接種にて感染症予防に努めた。接種件数: B型肝炎1,749件、ロタリックス756件、ロタテック572件、ヒブ2,367件、小児用肺炎球菌2,374件、BCG589件、四種混合2,442件、MR1,449件、日本脳炎2,640件、DT696件、子宮頸がん223件、水痘1,265件、インフルエンザ27,645件、高齢者用肺炎球菌585件。風しん抗体検査278件、風しん第5期84件。風しん予防接種費用補助72件。	4年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 子宮頸がん予防接種対象者(中学1年、高校1年)に接種勧奨通知を行う。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 種類	予算の主な増減の理由
→ ア: 市が実施する予防接種の対象疾病の数	イ:	子宮頸がん予防接種委託料の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位) 人	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
台志市民で定期接種は予防接種法施行令に定められた対象者、行政措置による任意接種は生後6月～65歳未満(インフルエンザ) 風しんの追加的対策の対象者は昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性、風しん予防接種費用補助対象者は、妊娠を希望する女性及びその配偶者等で抗体検査の結果予防接種が必要と判断された人。	→ ア: 予防接種の対象者数(人口)	イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位) 件	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
感染症の発症及び重症化を予防することができる。	→ ア: 接種件数	イ:
*③成果指標設定の理由と4年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~ 年度
接種者数が増えることで、感染症の発症・重症化を予防することができ、流行を抑制することができ本事業の意図につながるため成果の指標とする。また、保護者が接種の必要性を理解できるよう働きかけていく必要がある。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	31年度実績(決算)	2年度実績(決算)	3年度目標(当初予算)	3年度実績(決算)	4年度目標(当初予算)	5年度予定	6年度見込	7年度見込	
① 活動指標	種類	イ	15	16	16	16	16	16	16	16	
	イ										
② 対象指標	人	イ	62,707	63,189	63,600	63,841	64,614	65,500	66,391	67,270	
	イ										
③ 成果指標	件	イ	46,406	52,553	46,500	45,519	46,500	46,500	46,500	46,500	
	イ										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円		78,000						
		都道府県支出金	千円	4,597	9,125	6,620	1,912	3,621	3,621	100	
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円			200,000					
	人件費	一般財源	千円	240,268	208,690	84,971	256,366	306,096	306,089	306,089	293,940
		(A) 事業費計	千円	244,865	295,815	291,591	258,278	309,717	309,710	309,710	294,040
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	5	7	6	11	6	6	6	6
延べ業務時間	時間	1,024	1,990	1,000	2,704	1,000	1,000	1,000	1,000		
(B) 人件費計	千円	4,058	7,846	3,984	10,572	3,984	3,984	3,984	3,984		
トータルコスト(A)+(B)	千円	248,923	303,661	295,575	268,850	313,701	313,694	313,694	298,024		

事務事業名	感染症予防事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	---------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は3年度の事後評価、ただし複数年度事業は3年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 3年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 感染症予防の啓発・周知を行い、目標を達成した。
	② 4年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 未接種者への個別通知や感染症予防の啓発・周知を行うことで目標達成を図る。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 予防接種の必要性、効果等を健診や広報等で周知し、勧奨を行なうと共に、必要時には個別通知を行うなど向上の余地あり。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似した事業はない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 他市町と比較をしたが、接種料金は適正である。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 予防接種事業のスムーズな運営を行うためにも、必要不可欠な人数で実施している。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 定期接種については、接種時期・年齢が法で定められており、小児の接種は自己負担なしで実施しており、公平である。また、インフルエンザおよび高齢者用肺炎球菌については自己負担があるが、近隣市町と足並みを揃えているので公平と考える。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 予防接種法で定められているため。

3 評価結果の総括 (CHECK)

予防接種は適切な接種時期に接種をすることで、個人の免疫獲得、感染症の発症・重症化を予防、さらに集団免疫につながる。その為、接種機会を逃さないよう対象者への周知 (個別・広報誌・ホームページ等)を行うことが重要である。今後も、予防接種をとりまく状況は変化が大きい為、適切に対応していく必要がある。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>子宮頸がんワクチンの積極的勧奨が再開されたことによる 接種者の増、及び積極的勧奨の機会を逃した対象者への支援措置 に伴う接種者の増が考えられる。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			○																		
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p> <p>実施内容に変更はないが、子宮頸がんワクチンについてはキャッチアップ世帯の周知方法や自己負担で接種してしまっているひとへの償還払いの方法などについて改めて検討する。</p>																						